

第 39 回 お茶の水女子大学日本語文化学会研究会プログラム

2009 年 12 月 5 日 (土) 午後 1 時 30 分開会

◎ポスター発表 午後 2 時～3 時 35 分

「日本語上級非母語話者同士の会話において意味交渉はどのように現れるか」

千葉千恵子 (お茶の水女子大学大学院)

「日本語非母語話者と母語話者の相互学習型活動における「学習のあり方」の検討

—「言語的共生化の過程」の視点から—

杉原山美 (日白大学日本語教育センター)

「韓国における日本語教育と日韓関係—日本語の必要性を巡る言説の歴史—」

河先俊子 (フェリス学院大学)

「日本語教師の省察と学びからみる共生日本語教育実習の可能性」

鈴木(清水)寿子 (お茶の水女子大学大学院)

「「共生日本語教育」が支援者志向を持つ母語話者参加者の積極的共生態度に与えた影響

—PAC 分析による事例検証—

半原芳子 (AOTS横浜研修センター)

◎研究発表 午後 3 時 45 分～5 時 10 分

<第 1 分科会> 司会：岩田夏穂

「討論における中国人学習者と日本語母語話者の不同意表明の仕方」

倉田芳弥 (亜細亜大学)・楊虹 (お茶の水女子大学グローバル教育センター)

「台湾人学習者の相づち使用 —「そう系」を中心に—」

張晉璋 (お茶の水女子大学大学院)

「中国の大学における日本人教師の実態に関する研究—受け入れ側中国大學生關係者を調査対象に—」

曹 美蘭・張 鳳傑・孟 玲秀 (中国佳木斯大学日本語科)・金 成太 (中国佳木斯大学成人学院)

<第 2 分科会> 司会：影山陽子

「「知識の資産」を生かした母語による学習

—母親が参加する「教科・母語・日本語相互育成学習モデル」に基づく実践の中で—」

滑川恵理子 (お茶の水女子大学大学院)

「ドラマ視聴時の学びは教室指導によって変えられるか」

張文麗 (国際交流基金日本語国際センター・国立国語研究所・政策研究大学院大学連携大学院)

「「帰国体験を活かす」ことに対する考え方とその要因—帰国大學生のインタビュー結果の分析から—」

岡村郁子 (お茶の水女子大学グローバル教育センター)

◆ 第 39 回日本語文化学会研究会運営協力者 (敬称略)

高岸美代子、Arianty Visiaty、王植、加藤直子、Van Anh Nguyen、杉藤志帆、高登、千葉千恵子、張慧穎、張晉璋、チヨナレ、Thazin Myat、横田敦子、白春花、付如、鈴木(清水)寿子